

令和 7 年度 呉版アプローチカリキュラム

教育目標

なかまと共に生き生きと遊び、思いやりのある子を育てる。

施設名

中新開保育所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3									
行事	・入所・進級式 ・田植え ・交通安全教室 ・春の遠足 ・こいのぼりあげ ・総合避難訓練 ・こどもの日の集い ・歯みがき指導 ・ストーリーテリング ・歯科検診 ・内科健診 ・個人懇談 ・運動会 ・菜園活動・食育			・シャワー開始 プール開き ・午睡開始 ・夏まつり ・平和の集い ・防災ダック（民生委員） ・カレークッキング ・防災の日			・総合避難訓練 ・秋の遠足 ・芋ほり ・稲刈り ・個人懇談開始 ・歯科検診 ・内科健診 ・感謝の訪問 ・発表会 ・クリスマス会 ・クッキング ・焼き芋会 ・おむすびパーティー			・新年お楽しみ会 ・春を迎える会 ・ストーリーテリング ・思い出クッキング ・春を喜ぶ会 ・修了式 ・思い出遠足											
※10の姿で3つまで活動（ねらい）	・「おおきくなったねの会」で歌やお祝いの言葉を披露する。（③⑨⑩） ・身近な草花に触れたり、観察・収穫を行う。（⑥⑦⑩） ・当番活動をする（②③⑨） ・身体を動かすことを楽しみいろいろな活動に取り組む。（①③⑩） ・一人ひとりの様々な欲求を受け止め、情緒の安定した生活ができるようにする。 ・自分のやりたい遊びを見つけ楽しむ。（①②③） ・遠足に行く。（①④⑦） ・自分たちが育て収穫した食材を調理したものを、喜んで食べる。（③⑦）			・プール・水遊びを通して水の楽しさや注意事項を知る。（①④⑦） ・野菜（夏野菜）を育てる。（①③⑦） ・野菜を収穫し、食べる。（①⑦⑧） ・調理器具の安全な使い方を知る（⑥⑧⑨） ・いろいろな人と、気持ちよく挨拶する。（②④⑤） ・平和の集いに参加する。（⑤⑥⑦） ・交通ルールや避難方法を理解する。（④⑤⑥） ・文字に興味をもつ。（⑥⑧） ・たてわり活動で年下児をリードする。（②③⑥）			・戸外で身体を動かす心地よさを感じ、いろいろな運動に取り組む。（①③⑩） ・様々な楽器に親しむ。（③⑧⑩） ・芋ほり、焼き芋会をする。（①⑤⑦） ・さつまいもほりをする。（①⑦⑧） ・遠足に行く（①④⑦） ・米の収穫をし、食べる。（①⑦⑧）			・七草を知り、覚える。（②⑦⑨） ・新年おたのしみ会で伝承遊びに親しむ。（②③⑧） ・交通安全教室に参加し、交通ルールを理解し守る。（①④⑦） ・節分について知る。（④⑥⑩） ・お店屋さんごっこ（③⑥⑧⑩） ・おもいで親子遠足に行く〈大和ミュージアム〉（④⑤⑦） ・春を迎える会、春を喜ぶ会に参加する。（⑤⑥⑩） ・修了記念作品を作る。（⑥⑧⑩） ・なわとびに取り組む。（①②⑤）											
	①健康な心と体			②自立心		③協同性		④道徳性・規範意識の芽生え		⑤社会生活との関わり		⑥思考力の芽生え		⑦自然との関わり・生命尊重		⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		⑨言葉による伝え合い		⑩豊かな感性と表現	
	育ててほしい幼児の姿	・基本的生活習慣を身につけ主体的に行えるようにする。 ・保育士や友だちと安定した環境の中で意欲的に遊び、その中で言葉や文字・数量・図形などに興味や関心をもつ。 ・異年齢児のリーダーとしての自覚を持ち行動したり、親しみをもったりして喜んでかかわる。 ・人の話をしっかり聞き、話しかけや問いかけに対し適切に応答する。			・平和と命の大切さを考える。 ・野菜の栽培を通して育てる喜びや苦勞を知り、身体と食べ物との関係により関心が深まり、何でも食べようとする。 ・生活の中での決まりの大切さに気付き、すすんで守ろうとする。 ・夏のダイナミックな遊びを広げ、安全に気をつけて行動する。			・友だちの思いに気付きながら、共通の目的に向かって協力したり工夫したりする。 ・保護者や大勢の人前で言葉や行動で表現することを楽しむ。 ・作物の収穫を喜び、みんなで味わい、恵みに感謝する。 ・あきらめずに根気よく取り組むことによりやり遂げた喜びや達成感を味わう。 ・共通の目的に向かってあきらめずにやり遂げることで達成感を味わい、自信をもつ。			・共通の目的に向かってやり遂げることで達成感を味わい、自信をもつ。 ・友だちの考えを聞いたり自分の考えを伝えたりしながら、活動を行う。 ・自分で判断し、安全に気を付けて行動する。 ・冬の事象に関心を持ち、遊びに取り入れ、春の訪れに気付く。 ・様々な体験や行事を通して就学への期待をふくらませる。 ・健康や安全に必要な生活習慣や態度を身に付け、自分の身体を大切にしようとする気持ちをもつ。										
環境構成・援助	・主体的にのびのび遊べるよう、所内外の環境を把握し、危険の無いようにしておく。 ・落ちついて話を聞く時間、発言する時間を意識的につくる。 ・生活や遊びの中で数・文字・数量・時計に関わって遊べる場やルールを工夫する。 ・集団生活に必要な物を子どもたちと考え、一緒に準備する。			・野菜への水やり等を通して野菜を観察する時間をとる。 ・決まり・約束を守ることの気持ちよさ、楽しさを知らせていく。 ・夏ならではの開放的な雰囲気の中で十分楽しめる環境構成を工夫していく。			・友だちと共通の目的に向かって取り組む中で、協力し合い頑張る姿を認め、満足感を味わえるようにする。 ・発表会でやり遂げたことを認め、充実感をもてるよう声かけをする。 ・季節や生活の変化に気付き、収穫物を喜んだり自然物を使ったりして、遊びをイメージできるよう材料を準備する。			・修了までの予定が分かるようなカレンダー等を作り、スケジュールを確認しながら見通しをもって活動できるようにする。 ・行事に向けて活動する中で、季節を感じたりイメージをもてるようにする。 ・子ども一人ひとりの成長した姿を認め、自己肯定感を育み、就学に自信がもてるようにする。											
との連携	・学校評議員会 ・小学校入学式（所長参加） ・小学校運動会 未就学児かけっこ参加			・小学校教員の保育所訪問（初任者研修） ・保育参観(情報交換) ・幼保小連携担当者研修会			・学校評議員会 ・就学児健康診断 ・幼保小連携会 ・たこあげ（広小のグラウンドにて） ・小学校 学習発表会			・幼保小合同研修会 ・小学1年生との交流会（体験活動） ・就学に向け小学校へ情報提供 ・保育修了証書 授与式（比呂小学校校長先生来所） ・就学説明会											
との家庭連携	・子どもの様子を話し合う中で保護者の思いをしっかりと聞き、信頼関係を築く。 ・生活リズムを整えることが生活習慣の自立につながるということも確認し合う。 ・個人面談を行い、子どもの様子や保育の意図を知ってもらい相互理解を図る。（就学への期待や不安を受け止める）			・夏期の衛生や健康な生活リズムについて連絡を取り合い、状況に配慮して助言や提案をしていく。			・生活習慣・生活リズムの確立について確認し合い、よりよい生活態度が身に付く手立てを考えていく。 ・いろいろな行事を通して成長している子どもの様子を保護者に伝え、共に実感し合い認めていけるようにする。 ・アンケートを実施し、保護者の思いを知る。			・個人懇談を行い、修了に向けての生活や就学までに身につけておきたいことを確認し、成長を喜ぶ。 ・準備しておくこと等を知らせていく。											

学校教育目標

夢と志をもつ，自律した児童の育成

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
行事	始業式・就任式 入学式 地域の方よろしくね 六年生さんよろしくね 学級で学校探検期間 二年生から学校紹介 朝会デビュー 縦割り班活動 全校児童と交流 一年生を迎える会	運動会 避難訓練	プール開き 六年生とプール 七夕祭り 一学期終業式 園所への里帰り	秋の〇〇博士になろう 二年生との交流 防災タッグ交通安全 町民文化祭参加 新堂平神社参礼 学習発表会 園所との文化交流 持久走記録会 二学期終業式 三学期始業式 昔の遊び・地域との交流 園所との交流 学校のことを教えよう 六年生にお礼をしよう 六年生にありがとう集 卒業式 修了式	たねをまこう → おおきなあれ → こまったあさがお → はなをさかせよう → はなのようすをつたえよう → たねをとろう → あさがおさんありがとう	ふゆをたのしもう	もうすぐ2年生 6年生さんありがとう					
生活科を中核とした単元構成	どきどきわくわく ごうはらしょうがっこう 1ねんせい よろしくね ・はじめまして ともだち・おせわになります ・はじめまして がっこう がっこう だいすき ・がっこうをあるこう ・なにがあるのかな、たんけんしよう・2ねんせいさん おしえてね (国)「さあ はじめよう」「よろしくね」「こえをとどけよう」「たのしくかこう」(図)「すきなもののいっぱい」 (算)「わくわくすたあと」(音)「うたっておどってなかよくなろう」(特)「いっしょにえんそく」「たてわりはん」「むかえるかい」 (道)「わたしのすきなこと」「あいさつをすると」「がっこうにはね」「きをつけて」(体)「ごうはらっきたいそうをおしえてね」	はなをさかせよう いきものどなかよし むしをさがそう→ むしとなかよくなろう(かたつむりに代わる場合は6月) しょうがっこうのまわりをたんけんしよう なつがやってきた みずあそび (国)「こんなことしたよ」「えにっきをかこう」「はなしたいなききたいな」 (図)「かたつむりのさんぽ」(音)「かたつむり」 (道)「ぼくのあさがお」「どきどきどきんぐ」	たのしいあき いっぱい あきの おもちゃをつくらう いっしょに あそぼう どうしたらよろこんでくれるかな (国)「なにに見えるかな」「はっけんしたよ」 (算)「おおきさくらべ」(ながさ・かさ・ひろさ) (学)「6年生さんにありがとうをつたえよう」 (道)「もうすぐ2年生」									
育ってほしい児童の姿	生活上の自立 ・学校生活に必要な約束やルールを知り、身の回りのことを自分でやろうとする。【②、④】 ・困っていることを人に伝えたり自分から話しかけたりする。【③、⑤、⑨】 ・学校の施設や学校生活を支えている人々のことが分かり、安心して生活ができる。【①、⑤】 精神的な自立 ・新しく出会う先生や友達と進んで関わろうとする。【③、⑤、⑨】 ・大きな声で挨拶や返事ができる。【②、⑤】 ・友達や身の回りの動植物の命を大切にしようとする。【①、③、⑦】 学びの自立 ・知りたい、やってみたいと意欲的に取り組もうとする。【⑥、⑧、⑩】 ・見つけたものや経験したことをみんなの前で話したり、聞いたりする。【⑥、⑧、⑨】	・学校生活のリズムが身に付き、約束やルールを守ろうとする。 ・自分の思いを伝えることができる。 ・身の回りの整理整頓ができる。 ・色々な学年や地域の人とも進んで関わろうとする。 ・自分から挨拶ができる。 ・友達の思いに気づき、頑張りを認めたり伝えたりすることができる。	・学校生活のリズムが身に付き、約束やルールを自分たちで考え、守ろうとする。 ・身の回りの人々の支えに気づき、感謝の気持ちを伝えようとする。 ・整理整頓ができる。 ・色々な人々に進んで関わろうとする。 ・自分から気持ちのよい挨拶ができる。 ・自分のよさや友達のよさに気づき、互いに認め合いながら生活できる。 ・疑問に感じたり考えたりしたことをみんなで解決していこうとする。 ・友達の話を聞いて自分の考えを広げ、言葉や文字で表現することができる。	・学んだ知識や技能を活用することができる。(分かる・できる) ・やりたいことややるべきことを最後まで行うことができる。(やり抜く力) ・感じたことや考えたことや決めたことなどを、自分なりの方法で素直に表現することができる。(伝える力) ・自分の思いや願いにそって、すすんで行動することができる。(進んでやる力) ・思いや願いの実現に向けて必要なことを順序立てて考え、自分がすることを決めることができる。(考え・決める力)								
環境構成（人・もの・こと等）	心をほぐす・学校に安心感をもつ・先生や友達と仲良くする ○ 入学式翌日から1週間程度、保護者による「安心サポーター」制度を実施する。(朝7：40～8：40) ○ 保育所や園で使用していたような遊具や本、座り込んで活動できる自由なスペースを設ける。 ○ 登校後の自由遊びの時間の保障。(全校朝会等への参加は3週間程度行わない。) ○ 机のない広い学習スペースでの授業を中心に行う。 ○ 20分程度の時間間隔で授業を構成したり、活動を多く取り入れたりする。 ○ 異学年交流活動を増やす。(6年＝ペアと給食当番・給食指導、掃除当番、体育・遊び交流等 2年＝学校探検・朝顔の種のプレゼント) ○ 多くの先生方にGTになってもらい関わりをもつ。	自分にできることは自分でしようとする・集団のルールを考える ○ 生活科を核に合科的・関連的な指導を多く取り入れる。 ○ 全校児童との関わりをもつ。事前に全校児童に1年生への対応の仕方について指導する。 ○ 自由なスペースはそのままにする。 ○ 学級での朝の会を始める。 ○ 音楽・生活・体育など、週に6時間程度は合同授業を行う。 ○ 2年生との交流・授業(運動会の練習など) ○ 床に座っての学習、椅子だけの学習、班机やペア机での学習等を取り入れる。 ○ 成長の見える連続した掲示物を作成し掲示する。	関わりを広げる・自己発揮・主体性の発揮・自分の成長の自覚 ○ 朝の読み聞かせを、集中して聞いたり、感想を伝えたりする活動を続ける。 ○ 1年生だけで給食の当番活動を行い、責任感や自己有用感を感じる機会を増やす。(給食当番、学級会、朝・帰りの会の運営) ○ 班机やペア机で関わりが自然に増えるようにする。	夏季休業中 ○ 全教職員による保育所園への1日参観や合同研修会等で、幼児についての理解を深める。 ○ 学習の足跡が残り、1年間を振り返ることができる掲示物を作成する。 ○ スタートカリキュラム及びその編成について職員研修を行う。	二学期始め ○ 再びスタートカリキュラムのような指導を行い、生活リズムの回復と学びの姿勢の立て直しを図り、学校生活に円滑に返れるように配慮する。 ○ 6年生に修学旅行へのお守りを渡す。 ○ 6年生と縄跳び交流を行う。 ○ 6年生と「秋のおもちゃやさん」で交流する。	年度末 ○ スタートカリキュラム及びその編成について職員研修を行い、全教職員でその意義や考え方、大切にしたいことなどを共通理解する。 2月の新1年生保護者説明会 ・次年度の新1年生保護者にスタートカリキュラムを実施することと、その意義やねらいを伝える。 ・持ち物、入学式後の業者による給食着の販売について説明する。						
園・所との連携	○ 前年度末連携職員から新担任へ年度当初の連携、指導要録の確認、幼児期の学びと育ちの様子や指導の様子を把握し情報共有を行う。特に入学式に関する連携を念入りに行う。 ○ 入学後初めての参観日に、保育所等の保育士等に参観してもらい、その後電話等で連携を図る。	○ 4月末～5月初旬に、再び保育所・園の元担任等と連携し、児童理解を深め、カリキュラムの見直しを図る。 ○ 年長児の運動会への参加を依頼する。 ○ 保小中連携協議会(連絡会)を開催する。 ○ アサガオの栽培・観察の経験について園・所に確認する。(電話)	○ 保小中連携協議会(連絡会)を開催する。	○ 保小中職員・地域住民民生委員等の連携総会を開催する。 ○ 里帰りの様子の確認を行う。(保小中連絡会)	○ 年長児の学習発表会への出演を依頼する。 ○ 年長児と一緒に秋見つけに行く。(グリーンヒル郷原で待ち合わせる。) ○ 年長児と秋のおもちゃで交流する。 ○ 年長児の持久走記録会への参加を依頼する。	○ 3月末に年長児が通園している園・所等との連携を行う。(1～3年担任・養護教諭) (保育要録の授受、スタートカリキュラム・アプローチャカリキュラムの交換) ○ 学校関係者評価委員会の日に園・所等より参観に来てもらう。						
家庭との連携	○ 一週間ごとに週予定や学級通信を発行し、学習予定や児童の様子を丁寧に伝え、保護者に安心感を与えるようにする。 ○ 全校での音読・体力作り・メディアコントロール週間の取組を伝え、協力を仰ぐ。	○ 家庭訪問で、児童の登下校の環境や放課後の様子をつかみ、懇談会等で、保護者に学校教育への理解と協力を求める。 ○ 家庭学習等生活習慣の確立に向けて連携する。		○ 連絡帳での連携を開始する。(児童が連絡帳を書くようになるため)		○ 参観日や学級通信、学年のまとめの作品集等で1年間の成長を伝える。						

*「育ってほしい児童の姿」の項目における数字は以下の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に関連するものである。

①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

学びいっぱい・笑顔いっぱい・元気いっぱいの
「ひろっこ」の育成～みんなでチャレンジ・いきいき～

校番 (4) 吳市立 広 小学校

①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現